

各 位

平成 27 年 6 月 24 日

株式会社 みなと銀行

「兵庫県内中小企業の景況調査(2015年4月～6月期)」の実施について

株式会社 みなと銀行（頭取 尾野俊二）は、兵庫県内のお取引先中小企業のご協力を得て、県内中小企業の景況調査（2015年4月～6月期）を実施しましたので、調査結果をお知らせします。

本調査は、みなと銀行の県下全域にわたる支店ネットワークを活用し、地元中小企業の皆さまが実際に肌で感じておられる景況感などを幅広く把握し、地域金融機関としてお役に立つ情報を発信していくことを目指して、2010年11月より実施しているものです。

今後についても、四半期毎に実施し、地域の皆さまのご意見、ご判断をより反映した調査となるよう努めてまいります。

■景況調査の概要

実施時期	平成 27 年 5 月
調査対象	兵庫県内に本社を置くみなと銀行のお取引先中小企業 対象先：1,374 先、うち有効回答：1,099 先 (有効回答率 80.0%)
実施要領	原則、お客さまからの直接聞き取り
質問事項	景況感、売上、経常利益などに関する判断 D I 等

調査結果の概要と詳細は、別紙の通りです。ご参照下さい。

以 上

本資料に関するお問い合わせ先
企画部 広報室 藤井 TEL:078-333-3247

兵庫県内中小企業の景況調査

(2015年4月～6月期)

【調査結果】

- ・全体の景況感は2四半期連続改善となった。
- ・4～6月期は、製造業はやや悪化、非製造業がけん引した形となった。
- ・食料品や原材料の値上がりで、消費者の節約志向は根強く、小売り関連は振るわず。また、訪日外国人旅行者の消費もあまり影響はなかった。
- ・介護や観光、流通といった産業で求人が増えている。仕事を探しやすい環境になってきたようだ。
- ・7～9月期の景況は、引き続き改善を見込む。円安進行、電気料金の値上げなど不安材料はあるものの、今年に入り「悪い」と判断する企業が減少傾向にある。

回答企業の内訳

【業種】	社数	構成比(%)
製造業	333	30.3
建設業	166	15.1
卸売業	174	15.8
小売業	75	6.8
不動産業	88	8.0
運輸業	46	4.2
飲食業	13	1.2
医療・保健衛生	33	3.0
サービス業	96	8.7
その他	57	5.2
非製造業	748	68.1
無回答	18	1.6
合計	1,099	100.0

【従業員数】	社数	構成比(%)
小規模企業	67	6.1
5名以下	67	6.1
6～10名	122	11.1
小計	189	17.2
中小企業	221	20.1
11～20名	221	20.1
21～50名	310	28.2
51～100名	179	16.3
小計	710	64.6
中堅企業	88	8.0
101～200名	88	8.0
201名以上	91	8.3
小計	179	16.3
無回答	21	1.9
合計	1,099	100.0

※DI (Diffusion Index)

【例】景況判断DI = 「良い」と回答した企業の割合 - 「悪い」と回答した企業の割合

調査
集計
分析

みなと銀行
ひょうご経済研究所

調査方法等
・調査時点
・調査対象
・調査方法
・依頼先数
・有効回答数

2015年5月
兵庫県内に本社を置くみなと銀行の取引先企業
訪問(聞き取り)によるアンケート調査
1374社
1099社(有効回答率80.0%)

1 景況判断

項目	「良い」-「悪い」			
	2014年 10～12月	2015年 1～3月	2015年 4～6月	2015年 7～9月 《見通し》
全産業	▲7.5	▲2.8	▲0.7	0.0
小規模企業	▲12.5	▲7.8	▲11.8	▲11.5
中小企業	▲8.4	▲3.0	1.0	2.0
中堅企業	1.6	4.6	3.4	2.8
製造業	▲4.5	0.0	▲1.2	3.3
小規模企業	▲15.4	▲15.0	▲27.6	▲17.9
中小企業	▲6.4	▲2.3	0.4	5.0
中堅企業	6.2	14.3	5.0	8.3
非製造業	▲8.5	▲4.0	▲0.7	▲1.8
小規模企業	▲11.0	▲6.4	▲9.6	▲10.5
中小企業	▲9.2	▲3.3	1.5	0.7
中堅企業	▲0.8	▲0.9	0.9	▲1.7

▲0・7と、2四半期続けて改善した。『製造業』が1・2ポイント悪化した一方で、『非製造業』は3・3ポイント改善した。『製造業』は小規模企業が大幅に悪化、『非製造業』は運輸業、飲食業が改善した。小売業は▲18・7と、10・5ポイント改善したものの、依然として厳しい。地域別では、但馬・丹波地域が公共工事の増加で売上が伸びており、大幅に改善した。

2 売上高判断

項目	「増加」「減少」「上昇」「下落」			
	2014年 10～12月	2015年 1～3月	2015年 4～6月	2015年 7～9月 《見通し》
全産業	9.4	7.6	10.7	9.2
販売数量	5.7	4.9	8.4	7.1
小規模企業	▲3.2	0.5	1.6	▲2.8
中小企業	6.6	3.8	8.6	6.7
中堅企業	12.1	15.0	12.1	16.7
販売単価	2.0	3.9	4.3	2.9
小規模企業	▲3.8	0.5	3.8	▲0.6
中小企業	1.9	4.7	5.0	3.4
中堅企業	8.8	5.4	2.9	4.1
製造業	14.5	6.3	7.5	9.4
販売数量	9.9	2.0	4.8	6.7
販売単価	2.9	2.0	2.4	3.4
非製造業	6.8	8.2	11.6	8.3
販売数量	3.7	6.2	9.1	6.5
販売単価	1.5	4.6	5.0	2.5

『製造業』『非製造業』とも販売数量の伸びを受けて改善しており、『全産業』は3・1ポイント改善の10・7。『非製造業』は不動産業、運輸業、飲食業が大幅に改善し、建設業、医療・保健衛生が堅調である。見通しは『製造業』が改善、『非製造業』が悪化と予想している。

3 経常利益判断 中堅企業が大幅に悪化

『全産業』では5・8と1・4ポイント改善したが、『製造業』は4・0ポイントの悪化、『非製造業』は2・6ポイントの改善と二極化した。特に中堅製造業は大幅に悪化した(18・9ポイント)。業種では機械、プラスチック製造業が悪化した。

4 在庫判断 小売・卸売業で在庫が膨らむ

約9割の企業は、在庫は「適正」と判断している。『全産業』は▲2・8で前回調査と同じであるが、今年に入り「過剰」感が大きい。特に小売・卸売業では消費低迷により、「過剰」の判断が続いている。

5 資金繰り判断 小規模製造業に苦しい先が増加

『全産業』は8・3と4・7ポイント改善。全体の9割超の企業が「楽である」もしくは「普通」と判断している。小規模製造業は「楽である」が皆無となり、全業種で「苦しい」が増加したため大幅に悪化した(26・0ポイント)。

6 雇用判断 不足感の強まりに一服感

『全産業』では13・7と不足感が4・1ポイント低下し、13年7-9月期から続いた不足感の強まりに一服感が出た。ただし、小規模製造業では不足感が強まってきており、特に医療・保健衛生は人の確保が難しくなってきたようだ。

項目	3. 経常利益判断				4. 在庫判断				5. 資金繰り判断				6. 雇用判断			
	2014年 10~12月	2015年 1~3月	2015年 4~6月	7~9月 《見通し》												
全産業	1.3	4.4	5.8	5.4	▲2.7	▲2.8	▲2.8	▲0.7	4.6	3.6	8.3	5.5	17.8	17.8	13.7	15.3
小規模企業	▲0.5	0.0	1.6	▲0.5	▲0.5	1.1	▲1.7	1.1	▲3.6	▲3.6	▲2.1	▲3.8	8.3	9.3	10.8	16.0
中小企業	1.7	3.0	7.1	5.6	▲4.4	▲3.7	▲4.2	▲1.7	5.2	3.6	9.3	6.1	19.3	18.7	13.7	14.8
中堅企業	3.7	15.5	2.8	9.6	0.0	▲3.1	1.2	1.8	11.7	12.6	16.2	13.4	22.9	24.1	16.8	17.3
製造業	4.8	7.0	3.0	7.9	▲3.9	▲5.7	▲4.5	▲2.4	5.1	6.3	6.0	3.6	12.5	12.7	8.7	10.3
小規模企業	▲15.4	0.0	▲6.9	▲17.9	▲3.8	0.0	0.0	0.0	▲19.2	▲5.0	▲31.0	▲25.9	0.0	10.0	14.3	18.5
中小企業	6.0	4.2	4.2	8.4	▲4.1	▲4.7	▲5.4	▲2.9	6.0	3.3	7.9	5.0	13.8	12.1	9.2	10.9
中堅企業	9.1	20.6	1.7	18.3	▲3.1	▲11.1	▲3.3	▲1.7	13.6	22.2	18.3	13.3	12.1	14.5	3.3	3.3
非製造業	▲0.6	3.8	6.4	3.5	▲2.4	▲1.4	▲2.2	0.0	4.1	2.3	9.3	6.2	20.1	19.9	15.8	17.4
小規模企業	1.2	0.6	2.5	2.6	▲0.6	1.2	▲2.0	1.4	▲1.8	▲3.5	3.2	0.0	9.8	9.3	9.7	15.1
中小企業	▲0.7	3.1	8.5	3.7	▲4.5	▲3.1	▲3.6	▲1.1	4.6	3.3	10.0	6.5	22.3	21.8	16.2	16.7
中堅企業	0.8	12.6	1.7	3.5	1.7	2.0	2.9	2.9	10.7	7.1	14.7	12.9	28.7	29.5	23.3	24.1

7 経営活性化策

第1〜第3順位の合計を見ると、2年半前の調査と同様「販路拡大」「人材育成」「経費の削減」を挙げる企業が多い。ただし、第1順位については、昨今の人員不足感の強まりを受け、「人材育成」と「人員増強」が増えている。

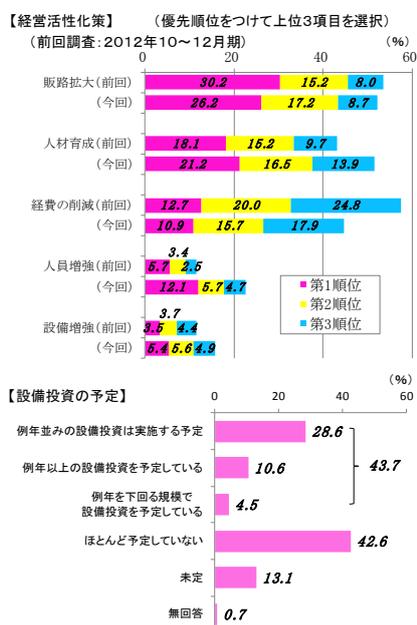
8 雇用状況

現状、「問題ない」が78・2%、「不足」が18・8%、「過剰」が1・6%であった。

雇用不足の解消策(複数回答)は、「採用強化」が49・4%、「業務の効率化」が24・4%などである。

9 設備投資の予定

設備投資を予定している企業は全体の43・7%で、製造業では半数以上(55・2%)の企業が計画している。また、規模別では、中堅企業が62・5%、中小企業が45・0%、小規模企業が22・2%と規模格差が出ている。



兵庫県内中小企業の景況調査

(2015年4月～6月期)

〔目 次〕

I. 調査方法等	1
II. 調査結果の概要	2
III. 個別項目の動向	
1. 景況判断	3
2. 売上高判断	5
3. 経常利益判断	6
4. 在庫判断	7
5. 資金繰り判断	8
6. 雇用判断	9
7. 経営活性化策	10
8. 雇用状況	11
9. 設備投資の予定	13
IV. 【参考】 景況判断の内訳明細	14

本調査に関する問い合わせ先
みなと銀行 企画部 広報室 (担当:藤井)
TEL 大代表(078)331-8141
直通 (078)333-3247

I. 調査方法等

- ◆調査時点 2015年5月
- ◆調査対象 兵庫県内に本社を置くみなと銀行の取引先企業
- ◆調査方法 訪問(聞き取り)によるアンケート調査
- ◆依頼先数 1,374社
- ◆有効回答数 1,099社(有効回答率80.0%)
- ◆集計・分析 ひょうご経済研究所

〔回答企業の内訳〕

【所在地】	社数	構成比(%)
神戸地域	388	35.3
阪神地域	132	12.0
播磨地域	421	38.3
但馬・丹波地域	66	6.0
淡路地域	88	8.0
無回答	4	0.4
合計	1,099	100.0

神戸地域・・・神戸市
 阪神地域・・・尼崎市、西宮市、芦屋市、伊丹市、宝塚市、川西市、三田市、川辺郡(猪名川町)
 播磨地域・・・姫路市、明石市、相生市、加古川市、赤穂市、西脇市、三木市、高砂市、小野市、加西市、宍粟市、加東市、たつの市、多可郡(多可町)、加古郡(稲美町、播磨町)、揖保郡(太子町)、赤穂郡(上郡町)、神崎郡(市川町、福崎町、神河町)、佐用郡(佐用町)
 但馬・丹波地域・・・篠山市、丹波市、豊岡市、養父市、朝来市、美方郡(香美町、新温泉町)
 淡路地域・・・洲本市、南あわじ市、淡路市

【業種】	社数	構成比(%)	
製造業	333	30.3	
非製造業	建設業	166	15.1
	卸売業	174	15.8
	小売業	75	6.8
	不動産業	88	8.0
	運輸業	46	4.2
	飲食業	13	1.2
	医療・保健衛生	33	3.0
	サービス業	96	8.7
その他	57	5.2	
非製造業	748	68.1	
無回答	18	1.6	
合計	1,099	100.0	

【資本金】	社数	構成比(%)
500万円以下	43	3.9
500万円超～1千万円以下	296	26.9
1千万円超～2千万円以下	199	18.1
2千万円超～3千万円以下	136	12.4
3千万円超～5千万円以下	212	19.3
5千万円超～1億円以下	149	13.6
1億円超	42	3.8
無回答	22	2.0
合計	1,099	100.0

【従業員数】	社数	構成比(%)	
小規模企業	5名以下	67	6.1
	6～10名	122	11.1
	小計	189	17.2
中小企業	11～20名	221	20.1
	21～50名	310	28.2
	51～100名	179	16.3
	小計	710	64.6
中堅企業	101～200名	88	8.0
	201名以上	91	8.3
	小計	179	16.3
無回答	21	1.9	
合計	1,099	100.0	

〔各種判断DIについて〕

※ DI (Diffusion Index)

【例】景況判断DI = 「良い」と回答した企業の割合(%) - 「悪い」と回答した企業の割合(%)

II. 調査結果の概要

- 全体の景況感は2 四半期連続改善となった。4-6 月期は、製造業はやや悪化、非製造業がけん引した形となった。
- 食料品や原材料の値上がりで、消費者の節約志向は根強く、小売り関連は振るわず。また、訪日外国人旅行者の消費もあまり影響はなかった。
- 介護や観光、流通といった産業で求人が増えている。確実に仕事を探しやすい環境になっているようだ。
- 7-9 月期の景況は、引き続き改善を見込む。円安進行、電気料金の値上げなど不安材料はあるものの、今年に入り「悪い」と判断する企業が減少傾向にある。

景況判断 DI は2.1ポイント改善の▲0.7
先行きは0.7ポイント改善の0.0

項目	最近3ヵ月 〔2015年4月～6月〕	今後3ヵ月 〔2015年7月～9月〕
景況判断 「良い」-「悪い」	<ul style="list-style-type: none"> • 全産業では▲0.7と2 四半期連続改善。 • 製造業が悪化し、非製造業は改善。 • 小規模製造業の悪化幅が大きい。 	<ul style="list-style-type: none"> • 全産業では0.0と続けて改善を予想。 • 製造業は4.5ポイント改善し、プラスに転じると予想する。
売上高判断 (前年同期比) 「増加」-「減少」	<ul style="list-style-type: none"> • 全産業では3.1ポイント改善の10.7。 • 製造業、非製造業とも、販売数量と売単価のいずれも改善した。 	<ul style="list-style-type: none"> • 全産業では1.5ポイントの悪化予想。 • 非製造業は販売数量、販売単価の悪化で3.3ポイントの悪化を見込む。
経常利益判断 (前年同期比) 「増加」-「減少」	<ul style="list-style-type: none"> • 全産業では1.4ポイント改善の5.8。 • 不動産業、運輸業、飲食業が大幅に改善した。 	<ul style="list-style-type: none"> • 全産業では0.4ポイントの悪化予想。 • 小規模製造業が▲17.9と大幅悪化を見込む。
在庫判断 「不足」-「過剰」	<ul style="list-style-type: none"> • 全産業では▲2.8(過剰)と横ばい。 • 中堅製造業の過剰が7.8ポイント改善。 • 「適正」という業が9割超と大半である。 	<ul style="list-style-type: none"> • 全産業では▲0.7と過剰幅が縮小。 • 今後とも「適正」とする企業が多い。
資金繰り判断 「楽である」 -「苦しい」	<ul style="list-style-type: none"> • 全産業では4.7ポイント改善の8.3。 • 小規模製造業が▲31.0と大幅に悪化。 	<ul style="list-style-type: none"> • 全産業では2.8ポイント悪化の5.5。 • 規模の大小、業種によらず、全般的に悪化を予想する。
雇用判断 「不足」-「過剰」	<ul style="list-style-type: none"> • 全産業では不足感が4.1ポイント低下。 • 建設業、運輸業、医療・保健衛生で恒常的に不足感が強い。 	<ul style="list-style-type: none"> • 全産業では不足感が少し強まると予想。 • 製造業、非製造業ともに不足感の強まりを見込む。
経営活性化策	<ul style="list-style-type: none"> • 第1～第3順位の合計を見ると、2年半前の調査と同様「販路拡大」「人材育成」「経費の削減」を挙げる企業が多い。ただし、第1順位については、昨今の人員不足感の強まりを受け、「人材育成」と「人員増強」が増えている。 	
雇用状況	<ul style="list-style-type: none"> • 現状、「問題ない」が78.2%、「不足」が18.8%、「過剰」が1.6%であった。 • 雇用不足の解消策(複数回答)は、「採用強化」が49.4%、「業務の効率化」が24.4%などである。 	
設備投資の予定	<ul style="list-style-type: none"> • 設備投資を予定している企業は全体の43.7%で、製造業では半数以上(55.2%)の企業が計画している。また、規模別では、中堅企業が62.5%、中小企業が45.0%、小規模企業が22.2%と規模格差が出ている。 	

Ⅲ. 個別項目の動向

1. 景況判断

(1) 最近3ヵ月 [2015年4月～6月]

全産業…最近3ヵ月の景況判断DI(「良い」-「悪い」)は、2.1ポイント改善の▲0.7と、2四半期続けて改善した。

業種別…『製造業』が1.2ポイント悪化した一方で、『非製造業』は3.3ポイント改善した。『製造業』は小規模企業が大幅に悪化した(12.6ポイント)。

規模別…『中小企業』(同11～100名)が4.0ポイント改善したが、『小規模企業』(従業員数10名以下)が4.0ポイント、『中堅企業』(同101名以上)が1.2ポイントと、いずれも悪化した。

【参考】

地域別…『但馬・丹波地域』が公共工事の増加で売上が伸びており、景況感は12.1と大幅に改善した。

業種別…『運輸業』、『飲食業』が大幅に改善してプラスに転じた。『小売業』は▲18.7と、10.5ポイント改善はしたものの、依然として厳しい。

※『飲食業』は回答企業数が少ないため、判断DIのブレ幅が大きくなっている。以下、同様に注意を要する。

(2) 今後3ヵ月 [2015年7月～9月]

全産業…今後の見通しは、0.0と0.7ポイントの改善を見込む。

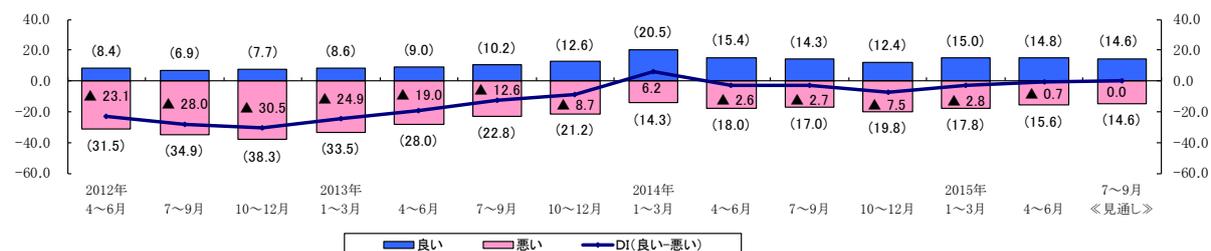
業種別…『製造業』が4.5ポイントの改善、『非製造業』が1.1ポイントの悪化を見込む。

規模別…『小規模企業』が0.3ポイント、『中小企業』が1.0ポイントといずれも改善を見込んでいるのに対し、『中堅企業』0.6ポイントの悪化を予想する。

項目	「良い」-「悪い」				
	2014年 7～9月	2014年 10～12月	2015年 1～3月	2015年 4～6月	2015年 7～9月 《見通し》
全産業	▲2.7	▲7.5	▲2.8	▲0.7	0.0
小規模企業	▲7.1	▲12.5	▲7.8	▲11.8	▲11.5
中小企業	▲3.0	▲8.4	▲3.0	1.0	2.0
中堅企業	2.4	1.6	4.6	3.4	2.8
製造業	▲1.8	▲4.5	0.0	▲1.2	3.3
小規模企業	▲5.9	▲15.4	▲15.0	▲27.6	▲17.9
中小企業	▲3.1	▲6.4	▲2.3	0.4	5.0
中堅企業	1.7	6.2	14.3	5.0	8.3
非製造業	▲2.9	▲8.5	▲4.0	▲0.7	▲1.8
小規模企業	▲7.5	▲11.0	▲6.4	▲9.6	▲10.5
中小企業	▲2.8	▲9.2	▲3.3	1.5	0.7
中堅企業	2.7	▲0.8	▲0.9	0.9	▲1.7

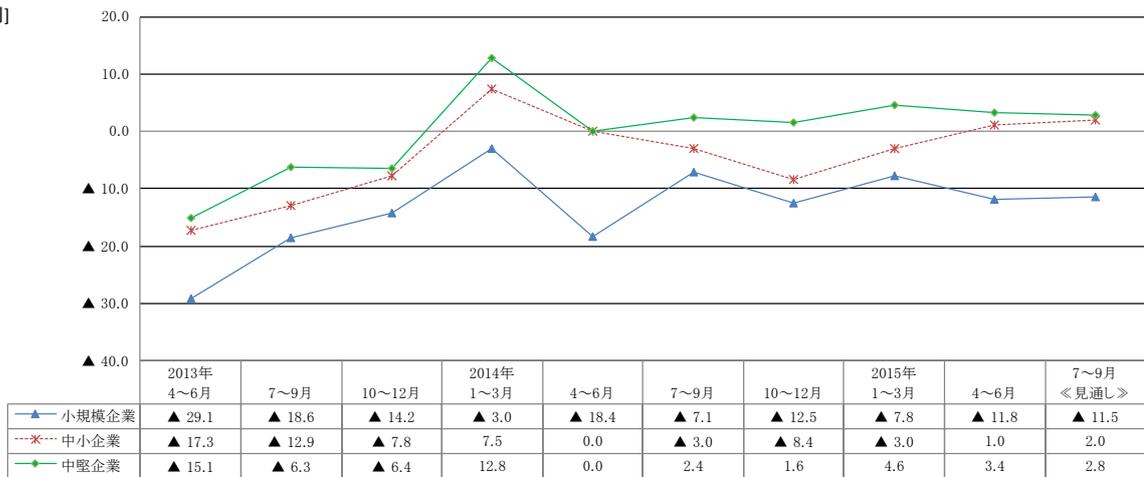
項目	「良い」-「悪い」					
	2014年 7～9月	2014年 10～12月	2015年 1～3月	2015年 4～6月	2015年 7～9月 《見通し》	
地域別	神戸地域	▲3.9	▲5.4	▲4.4	▲1.3	0.8
	阪神地域	12.5	▲3.7	13.5	11.5	7.8
	播磨地域	▲2.6	▲9.0	▲3.7	▲5.5	▲3.6
	但馬・丹波地域	▲14.3	▲16.4	0.0	12.1	19.7
	淡路地域	▲7.7	▲10.8	▲19.5	▲3.4	▲11.6
	製造業	▲1.8	▲4.5	0.0	▲1.2	3.3
業種別 非製造業	建設業	12.2	1.8	11.1	10.9	5.5
	卸売業	▲10.8	▲12.3	▲12.6	▲8.7	▲7.1
	小売業	▲21.3	▲27.1	▲29.2	▲18.7	▲20.0
	不動産業	3.6	▲13.3	▲1.2	3.4	4.7
	運輸業	6.3	▲16.3	▲15.0	4.4	0.0
	飲食業	21.4	0.0	▲18.8	7.7	15.4
	医療・保健衛生	▲9.7	▲7.1	2.4	9.1	3.0
	サービス業	▲8.8	▲6.2	4.0	▲6.3	▲2.1
	その他	▲2.2	6.8	0.0	5.4	0.0

景況判断の推移【全産業】

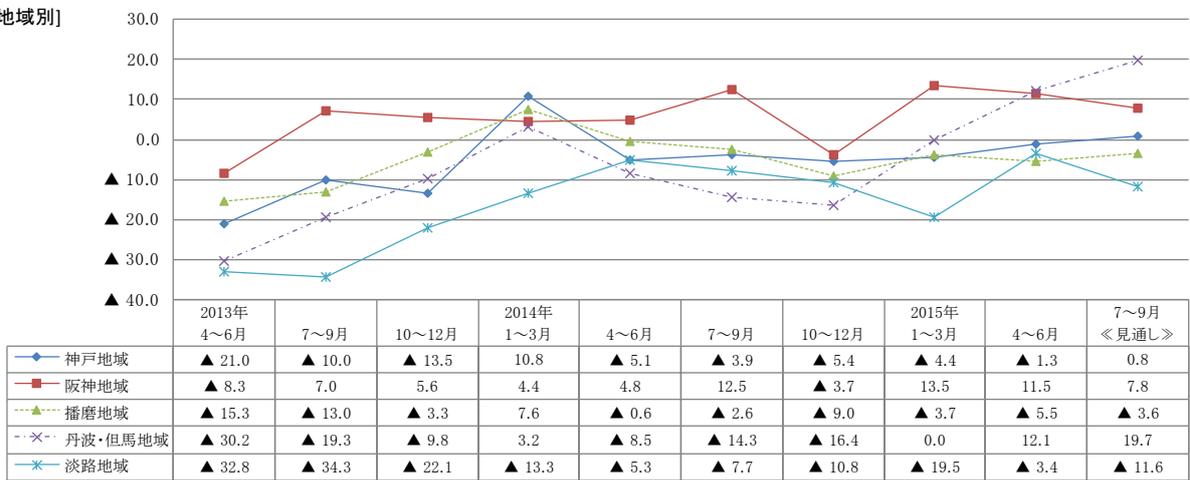


景況判断の推移明細

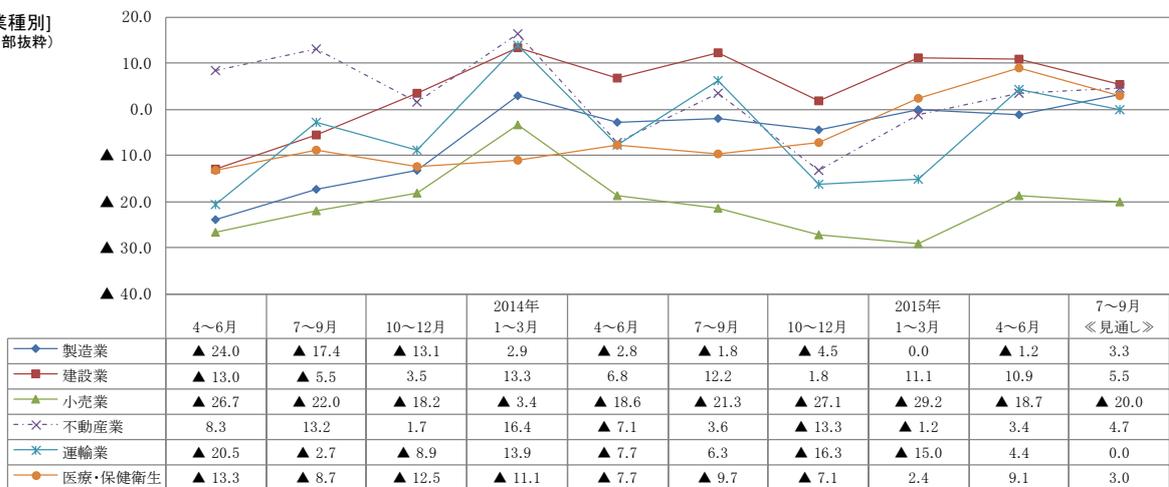
[規模別]



[地域別]



[業種別]
(一部抜粋)



2. 売上高判断

(1) 最近3ヵ月 [2015年4月～6月]

全産業・・・最近3ヵ月の売上高判断DI(「増加」-「減少」)は、販売数量、販売単価がともに改善したことを受け、10.7と3.1ポイント改善した。

業種別・・・『製造業』が1.2ポイント、『非製造業』が3.4ポイントと、いずれも改善した。

【参考】

地域別・・・『但馬・丹波地域』が14.2ポイント、『淡路地域』が9.1ポイントと、いずれも大幅に改善してプラスに転じたことにより、全地域でプラス判断となっている。

業種別・・・『不動産業』(10.3ポイント)、『運輸業』(14.7ポイント)、『飲食業』(30.8ポイント)が大幅に改善し、『建設業』、『医療・保健衛生』などが堅調である一方、『小売業』は▲9.3と厳しい判断が続いている。

(2) 今後3ヵ月 [2015年7月～9月]

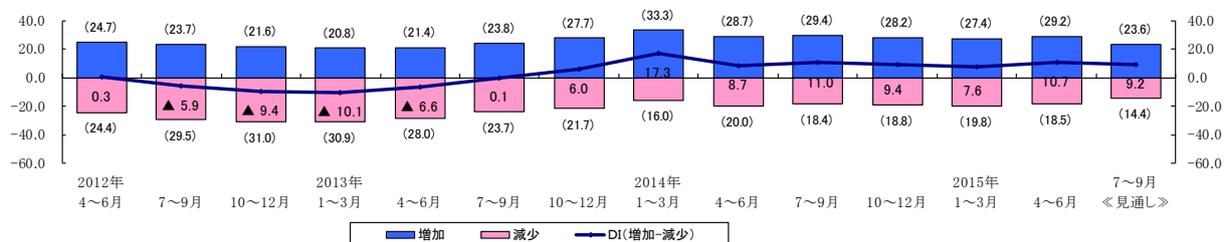
全産業・・・今後の見通しは、販売数量、販売単価とも小幅悪化し、9.2と1.5ポイントの悪化を見込む。

業種別・・・『製造業』が1.9ポイント改善の9.4を見込むのに対し、『非製造業』は3.3ポイント悪化の8.3を予想している。

(前年同期比)		「増加」-「減少」、「上昇」-「下落」				
項目	2014年 7～9月	2014年 10～12月	2015年 1～3月	2015年 4～6月	2015年 7～9月 《見通し》	
全産業	11.0	9.4	7.6	10.7	9.2	
販売数量	9.4	5.7	4.9	8.4	7.1	
小規模企業	6.7	▲3.2	0.5	1.6	▲2.8	
中小企業	9.2	6.6	3.8	8.6	6.7	
中堅企業	12.3	12.1	15.0	12.1	16.7	
販売単価	8.6	2.0	3.9	4.3	2.9	
小規模企業	8.7	▲3.8	0.5	3.8	▲0.6	
中小企業	7.2	1.9	4.7	5.0	3.4	
中堅企業	14.3	8.8	5.4	2.9	4.1	
製造業	7.8	14.5	6.3	7.5	9.4	
販売数量	7.5	9.9	2.0	4.8	6.7	
販売単価	▲0.4	2.9	2.0	2.4	3.4	
非製造業	12.6	6.8	8.2	11.6	8.3	
販売数量	10.3	3.7	6.2	9.1	6.5	
販売単価	12.2	1.5	4.6	5.0	2.5	

【参考】		「増加」-「減少」、「上昇」-「下落」				
項目	2014年 7～9月	2014年 10～12月	2015年 1～3月	2015年 4～6月	2015年 7～9月 《見通し》	
地域別	神戸地域	12.9	9.1	6.6	12.7	12.4
	阪神地域	19.6	24.6	26.5	28.2	21.3
	播磨地域	9.3	6.0	6.8	4.5	4.3
	但馬・丹波地域	1.6	7.3	▲3.4	10.8	27.7
	淡路地域	7.7	2.4	▲3.4	5.7	▲10.5
業種別	製造業	7.7	14.5	6.3	7.5	9.4
	建設業	29.0	20.1	18.3	23.8	11.0
	卸売業	5.1	1.7	▲3.3	▲1.1	10.5
	小売業	0.0	▲11.4	▲8.2	▲9.3	▲13.3
	不動産業	5.4	▲4.0	9.5	19.8	14.1
	運輸業	25.0	7.0	4.9	19.6	4.3
	飲食業	28.6	18.2	0.0	30.8	23.1
	医療・保健衛生	6.7	9.5	17.1	24.2	21.2
	サービス業	9.9	11.1	20.2	6.3	6.3
	その他	11.1	11.4	12.8	21.4	8.9

売上高判断の推移【全産業】



3. 経常利益判断

(1) 最近3ヵ月 [2015年4月～6月]

- 全産業・・・最近3ヵ月の経常利益判断DI(「増加」-「減少」)は、5.8と1.4ポイント改善した。
- 業種別・・・『製造業』は4.0ポイントの悪化、『非製造業』は2.6ポイントの改善と二極化した。特に中堅製造業は大幅に悪化した(18.9ポイント)。業種では機械、プラスチック製造業が悪化した。
- 規模別・・・『中堅企業』は非製造業においても悪化しており、中堅企業全体では大幅に悪化した(12.7ポイント)。

【参考】

- 地域別・・・『但馬・丹波地域』と『淡路地域』は、売上が増えていることを受け、大幅に改善した。
- 業種別・・・『運輸業』(16.6ポイント)、『飲食業』(35.6ポイント)の改善幅が大きい。

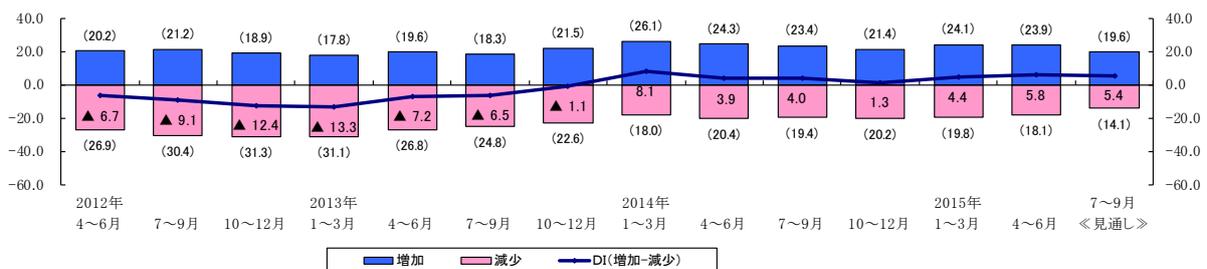
(2) 今後3ヵ月 [2015年7月～9月]

- 全産業・・・今後の見通しは0.4ポイントの悪化の5.4を見込む。
- 業種別・・・『製造業』が4.9ポイントの改善を見込むのに対し、『非製造業』は2.9ポイントの悪化を見込む。
- 規模別・・・『小規模企業』と『中小企業』が悪化を見込む中、『中堅企業』は6.8ポイント改善の9.6を見込む。

項目	2014年 7～9月	2014年 10～12月	2015年 1～3月	2015年 4～6月	2015年 7～9月 《見通し》
全産業	4.0	1.3	4.4	5.8	5.4
小規模企業	1.3	▲0.5	0.0	1.6	▲0.5
中小企業	3.8	1.7	3.0	7.1	5.6
中堅企業	5.4	3.7	15.5	2.8	9.6
製造業	1.1	4.8	7.0	3.0	7.9
小規模企業	0.0	▲15.4	0.0	▲6.9	▲17.9
中小企業	▲1.0	6.0	4.2	4.2	8.4
中堅企業	5.2	9.1	20.6	1.7	18.3
非製造業	5.1	▲0.6	3.8	6.4	3.5
小規模企業	0.8	1.2	0.6	2.5	2.6
中小企業	6.4	▲0.7	3.1	8.5	3.7
中堅企業	5.5	0.8	12.6	1.7	3.5

項目	2014年 7～9月	2014年 10～12月	2015年 1～3月	2015年 4～6月	2015年 7～9月 《見通し》	
地域別	神戸地域	6.5	▲1.4	2.2	7.3	6.8
	阪神地域	8.2	15.7	19.7	16.0	15.7
	播磨地域	3.8	1.0	4.2	▲1.7	1.2
	但馬・丹波地域	▲9.7	▲5.5	▲6.9	16.7	19.7
	淡路地域	0.0	▲6.1	0.0	11.6	▲4.7
	製造業	1.1	4.8	7.0	3.0	7.9
業種別 非製造業	建設業	16.2	12.2	15.9	19.5	6.1
	卸売業	▲1.4	▲5.1	▲10.5	▲10.5	▲2.9
	小売業	▲10.8	▲13.0	0.0	▲2.7	▲9.3
	不動産業	3.6	4.0	7.2	14.9	12.8
	運輸業	21.9	▲4.7	7.3	23.9	13.0
	飲食業	53.8	27.3	▲12.5	23.1	23.1
	医療・保健衛生	6.5	▲2.4	12.2	9.1	15.2
	サービス業	▲2.5	▲7.4	9.1	2.1	4.3
	その他	6.7	▲6.8	▲2.6	5.4	▲1.8

経常利益判断の推移【全産業】



4. 在庫判断

(1) 最近3ヵ月 [2015年4月～6月]

全産業・・・約9割の企業は「適正」と判断している(「不足」3.0%、「適正」91.1%、「過剰」5.8%)。
最近3ヵ月の在庫判断DI(「不足」-「過剰」)は▲2.8で、前回調査と同じであるが、今年に入り「過剰」が大きい。

業種別・・・『製造業』が▲4.5、『非製造業』は▲2.2と、いずれも過剰判断となっている。

規模別・・・中堅製造業が▲3.3となっており、前回調査で一時的に高まった過剰感が和らいだ。

【参考】

地域別・・・『阪神地域』を除き、他の地域は在庫に少し過剰感がある。

業種別・・・『小売業』、『卸売業』では消費低迷により、「過剰」の判断が続いている。

(2) 今後3ヵ月 [2015年7月～9月]

全産業・・・今後の見通しは、▲0.7と過剰感が2.1ポイント低下すると予想。

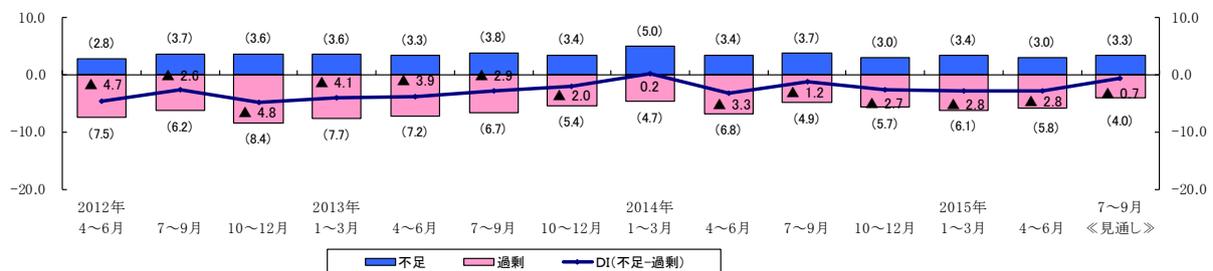
業種別・・・『製造業』、『非製造業』ともに過剰感の低下を見込む。

規模別・・・『小規模企業』が1.1となり、不足判断に転じると予想している。

項目	2014年 7～9月	2014年 10～12月	2015年 1～3月	2015年 4～6月	2015年 7～9月 《見通し》
全産業	▲1.2	▲2.7	▲2.8	▲2.8	▲0.7
小規模企業	2.8	▲0.5	1.1	▲1.7	1.1
中小企業	▲2.8	▲4.4	▲3.7	▲4.2	▲1.7
中堅企業	1.2	0.0	▲3.1	1.2	1.8
製造業	▲4.5	▲3.9	▲5.7	▲4.5	▲2.4
小規模企業	5.9	▲3.8	0.0	0.0	0.0
中小企業	▲6.8	▲4.1	▲4.7	▲5.4	▲2.9
中堅企業	▲1.7	▲3.1	▲11.1	▲3.3	▲1.7
非製造業	0.7	▲2.4	▲1.4	▲2.2	0.0
小規模企業	2.4	▲0.6	1.2	▲2.0	1.4
中小企業	▲0.6	▲4.5	▲3.1	▲3.6	▲1.1
中堅企業	2.9	1.7	2.0	2.9	2.9

項目	2014年 7～9月	2014年 10～12月	2015年 1～3月	2015年 4～6月	2015年 7～9月 《見通し》	
地域別	神戸地域	▲0.7	▲0.9	▲2.0	▲2.7	▲0.5
	阪神地域	2.2	▲1.5	2.3	0.0	2.5
	播磨地域	▲2.1	▲3.0	▲3.0	▲3.9	▲1.0
	但馬・丹波地域	▲1.8	▲13.7	▲11.8	▲4.5	▲7.6
	淡路地域	▲2.6	▲5.1	▲5.8	▲2.4	0.0
業種別	製造業	▲4.4	▲3.9	▲5.7	▲4.5	▲2.4
	建設業	3.0	1.9	1.3	3.2	3.2
	卸売業	▲2.2	▲9.6	▲4.4	▲14.4	▲7.0
	小売業	▲6.7	▲10.0	▲11.0	▲6.7	▲4.0
	不動産業	12.2	8.3	5.2	3.6	9.8

在庫判断の推移【全産業】



5. 資金繰り判断

(1) 最近3ヵ月 [2015年2月～6月]

全産業・・・最近3ヵ月の資金繰り判断DI(「楽である」-「苦しい」)は、8.3と4.7ポイント改善した。全体の9割超の企業が「楽である」もしくは「普通」と判断している(「楽である」14.6%、「普通」79.0%、「苦しい」6.3%)。

業種別・・・『製造業』が0.3ポイント悪化したのに対し、『非製造業』は7.0ポイント改善した。

規模別・・・小規模製造業は「楽である」が皆無となり、全業種で「苦しい」が増加したため大幅に悪化した(26.0ポイント)。

【参考】

地域別・・・『阪神地域』が少し悪化したのを除き、他の地域は改善した。特に『神戸地域』は大幅に改善した(8.5ポイント)。

業種別・・・『小売業』が大幅に改善(13.6ポイント)してプラスに転じたほか、『建設業』の改善幅が大きい(11.7ポイント)。

(2) 今後3ヵ月 [2015年7月～9月]

全産業・・・今後の見通しは、2.8ポイント悪化の5.5と予想する。

業種別・・・『製造業』は2.4ポイント悪化、『非製造業』は3.1ポイント悪化と、いずれも悪化を見込む。

規模別・・・企業規模の大小を問わず、『小規模企業』、『中小企業』、『中堅企業』のいずれも悪化を予想する。

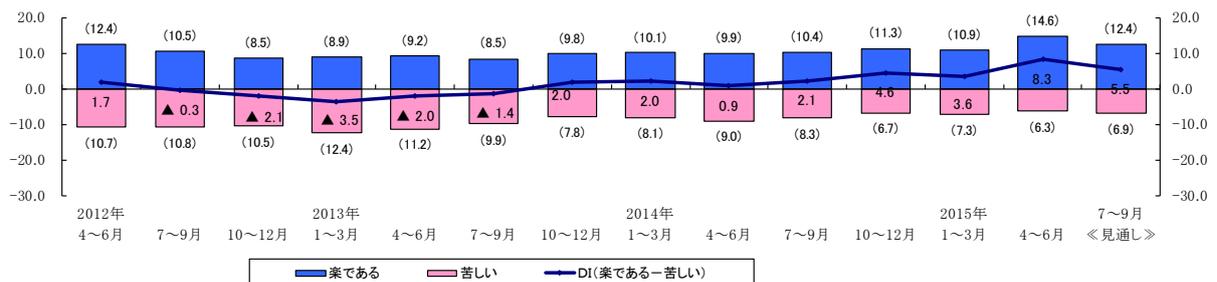
「楽である」-「苦しい」

項目	2014年 7～9月	2014年 10～12月	2015年 1～3月	2015年 4～6月	2015年 7～9月 《見通し》
全産業	2.1	4.6	3.6	8.3	5.5
小規模企業	▲5.9	▲3.6	▲3.6	▲2.1	▲3.8
中小企業	2.9	5.2	3.6	9.3	6.1
中堅企業	8.3	11.7	12.6	16.2	13.4
製造業	4.1	5.1	6.3	6.0	3.6
小規模企業	5.9	▲19.2	▲5.0	▲31.0	▲25.9
中小企業	2.1	6.0	3.3	7.9	5.0
中堅企業	10.3	13.6	22.2	18.3	13.3
非製造業	1.1	4.1	2.3	9.3	6.2
小規模企業	▲8.3	▲1.8	▲3.5	3.2	0.0
中小企業	3.3	4.6	3.3	10.0	6.5
中堅企業	7.3	10.7	7.1	14.7	12.9

【参考】 「楽である」-「苦しい」

項目	2014年 7～9月	2014年 10～12月	2015年 1～3月	2015年 4～6月	2015年 7～9月 《見通し》	
地域別	神戸地域	6.1	7.6	6.1	14.6	10.7
	阪神地域	5.2	3.7	7.5	6.9	1.6
	播磨地域	4.0	7.5	3.7	6.9	5.7
	但馬・丹波地域	▲23.0	▲21.8	▲13.8	▲6.1	▲6.1
	淡路地域	▲6.4	▲2.5	0.0	1.1	▲3.4
業種別	製造業	4.0	5.1	6.3	6.0	3.6
	建設業	▲1.4	3.7	3.5	15.2	12.1
	卸売業	2.1	6.7	2.7	6.4	7.0
	小売業	▲2.7	7.1	▲12.3	1.3	▲2.7
	不動産業	8.9	4.0	12.0	12.6	10.5
	運輸業	▲6.3	▲9.3	▲2.4	4.5	▲4.5
	飲食業	0.0	0.0	6.3	0.0	▲7.7
	医療・保健衛生	0.0	▲2.4	0.0	3.0	3.0
	サービス業	4.9	7.5	7.1	10.4	4.2
	その他	2.2	4.5	▲5.1	14.3	8.9

資金繰り判断の推移【全産業】



6. 雇用判断

(1) 最近3ヵ月 [2015年4月～6月]

全産業・・・最近3ヵ月の雇用判断DI(「不足」-「過剰」)は13.7と、不足感が4.1ポイント低下し、2013年7～9月期から続いた不足感の強まりに一服感が出た。

業種別・・・『製造業』が8.7、『非製造業』が15.8と、いずれも不足感が少し弱まった。『非製造業』で不足感が強い状況が続いている。

規模別・・・『中小企業』と『中堅企業』は不足感が弱まったが、『小規模企業』は製造業で不足感が強まってきている。

【参考】

地域別・・・『淡路地域』で不足感が強まったのを除き、他の地域の不足感は弱まった。中でも『阪神地域』は9.4と不足感が大幅に弱まった(12.0ポイント)。

業種別・・・『建設業』が27.4、『運輸業』が23.9、『医療・保健衛生』が39.4など、恒常的に不足感が強い状況が続いている。特に『医療・保健衛生』は人の確保が難しくなっているようだ。

(2) 今後3ヵ月 [2015年7月～9月]

全産業・・・今後の見通しは、15.3と不足感が1.6ポイント強まると予想している。

業種別・・・『製造業』、『非製造業』とも、不足感が1.6ポイント強まると見込んでいる。

規模別・・・企業規模の大小を問わず、『小規模企業』、『中小企業』、『中堅企業』のいずれも不足感が強まると予想する。

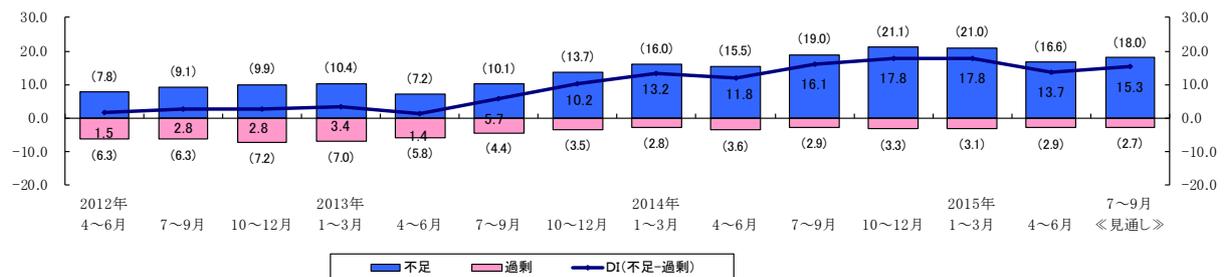
「不足」-「過剰」

項目	2014年 7～9月	2014年 10～12月	2015年 1～3月	2015年 4～6月	2015年 7～9月 《見通し》
全産業	16.1	17.8	17.8	13.7	15.3
小規模企業	14.9	8.3	9.3	10.8	16.0
中小企業	15.0	19.3	18.7	13.7	14.8
中堅企業	21.4	22.9	24.1	16.8	17.3
製造業	9.6	12.5	12.7	8.7	10.3
小規模企業	11.8	0.0	10.0	14.3	18.5
中小企業	9.3	13.8	12.1	9.2	10.9
中堅企業	12.1	12.1	14.5	3.3	3.3
非製造業	19.0	20.1	19.9	15.8	17.4
小規模企業	15.8	9.8	9.3	9.7	15.1
中小企業	18.0	22.3	21.8	16.2	16.7
中堅企業	26.4	28.7	29.5	23.3	24.1

「不足」-「過剰」

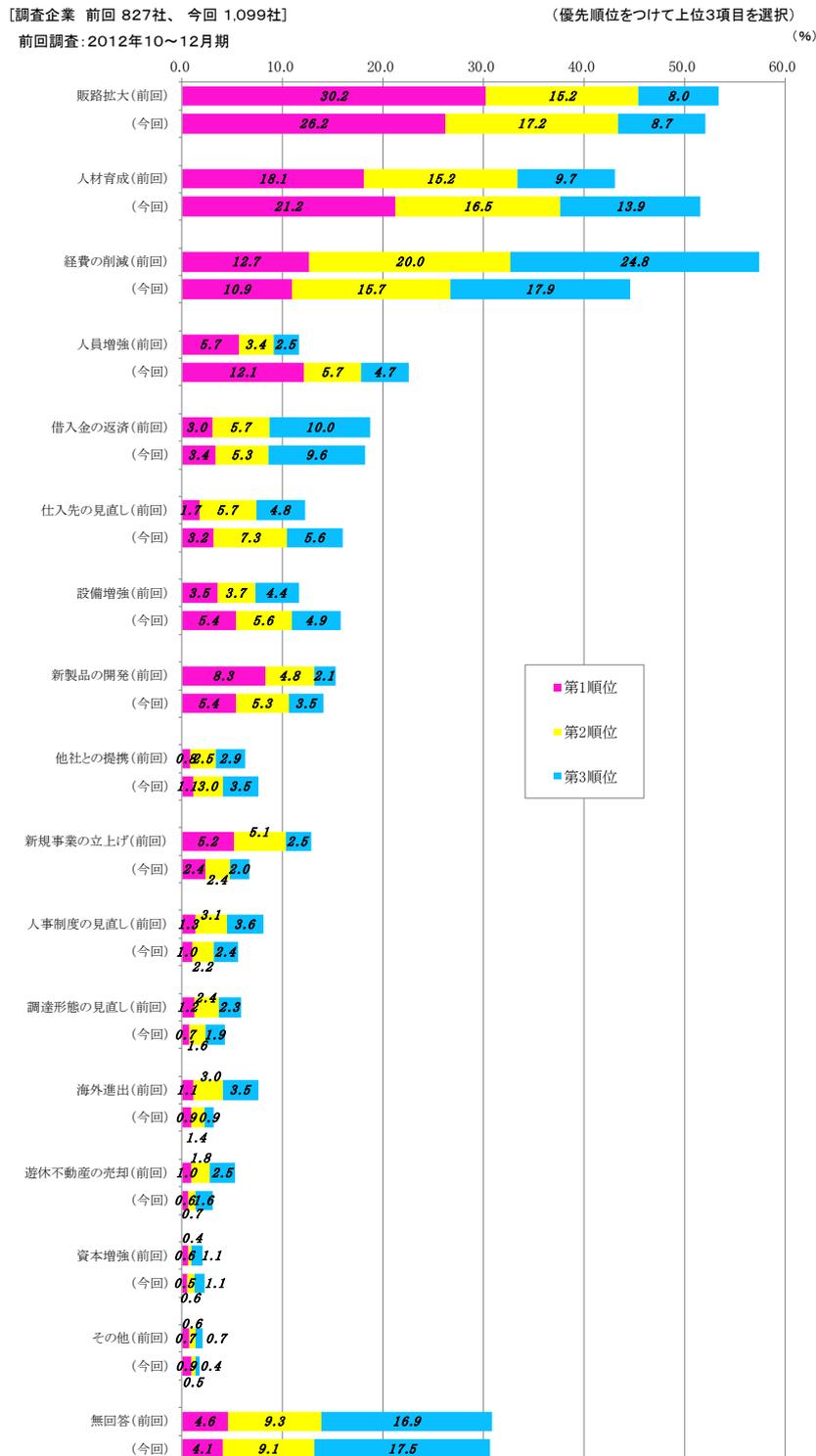
項目	2014年 7～9月	2014年 10～12月	2015年 1～3月	2015年 4～6月	2015年 7～9月 《見通し》	
地域別	神戸地域	13.1	15.0	15.2	14.6	17.5
	阪神地域	17.5	13.4	21.2	9.2	9.4
	播磨地域	15.7	18.9	21.0	14.5	14.3
	但馬・丹波地域	20.6	27.8	13.8	12.3	20.0
	淡路地域	24.4	24.4	11.4	13.8	16.1
業種別	製造業	9.9	12.5	12.7	8.7	10.3
	建設業	36.2	39.6	35.9	27.4	31.1
	卸売業	6.4	6.7	4.4	6.9	11.1
	小売業	10.7	15.7	15.1	8.1	8.1
	不動産業	5.4	2.7	4.8	6.9	8.1
	運輸業	40.6	30.2	34.1	23.9	15.6
	飲食業	28.6	9.1	37.5	15.4	0.0
	医療・保健衛生	19.4	23.8	29.3	39.4	39.4
	サービス業	18.5	24.7	29.3	16.7	18.8
	その他	17.8	18.6	7.7	10.9	12.7

雇用判断の推移【全産業】



7. 経営活性化策

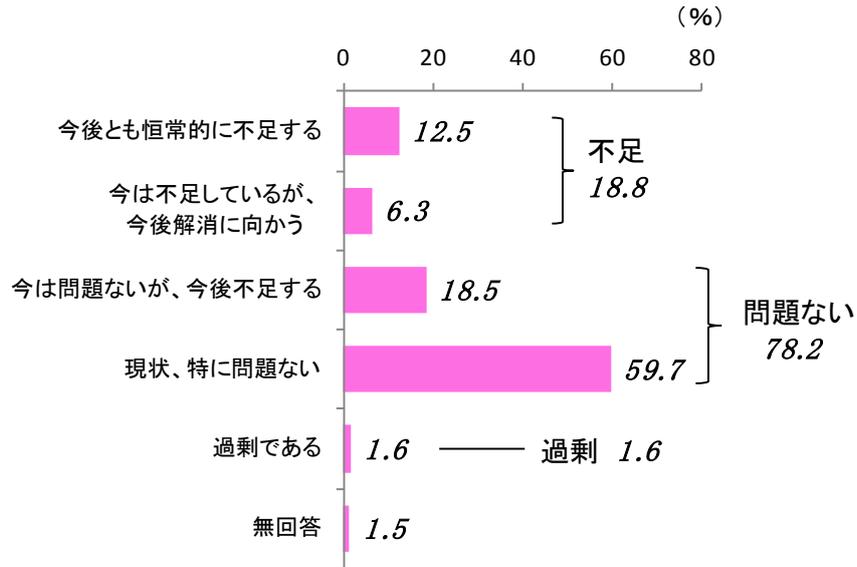
- ・第1～第3順位の合計を見ると、2年半前の調査と同様「販路拡大」「人材育成」「経費の削減」を挙げる企業が多い。
- ・ただし、第1順位については、昨今の人員不足感の強まりを受け、「人材育成」と「人材増強」が増えている。



8. 雇用状況

現在の状況

- ・現状、「不足」が18.8%、「問題ない」が78.2%、「過剰」が1.6%。
- ・今後の見通しに着目すると、「今後不足」が「今後解消」を12.2ポイント上回っており、雇用の不足感が強まると予想している。

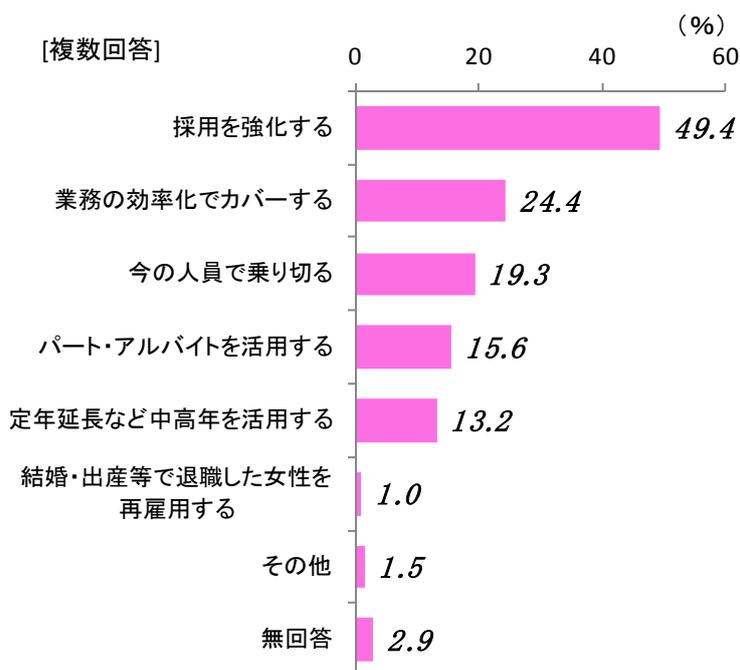


(%)

	回答 企業数 (社)	今後とも恒常 的に不足する	今は不足して いるが、今後 解消に向かう	今は問題ない が、今後不足 する	現状、特に問 題ない	過剰である	無回答	合計	
全産業	1,099	12.5	6.3	18.5	59.7	1.6	1.5	100.0	
規模別	小規模企業	189	10.6	5.8	17.5	64.6	0.5	1.1	100.0
	中小企業	710	12.5	7.0	18.5	58.7	2.3	1.0	100.0
	中堅企業	179	14.5	3.9	19.0	58.7	0.6	3.4	100.0
業種別	製造業	333	9.0	6.9	18.9	61.3	2.7	1.2	100.0
	非製造業	748	14.2	5.9	18.0	59.1	1.2	1.6	100.0

雇用が不足する場合の対策

- ・現状および今後不足を危惧する企業（409社）に、不足する場合の対応を尋ねたところ（複数回答）、「採用を強化する」が49.4%で最も多く、以下、「業務の効率化でカバーする」が24.4%、「今の人員で乗り切る」が19.3%などとなっている。
- ・規模別には、中小企業と中堅企業は「採用を強化する」企業が多い（順に53.0%、56.7%）のに対し、小規模企業は「今の人員で乗り切る」企業が多い（29.7%）。

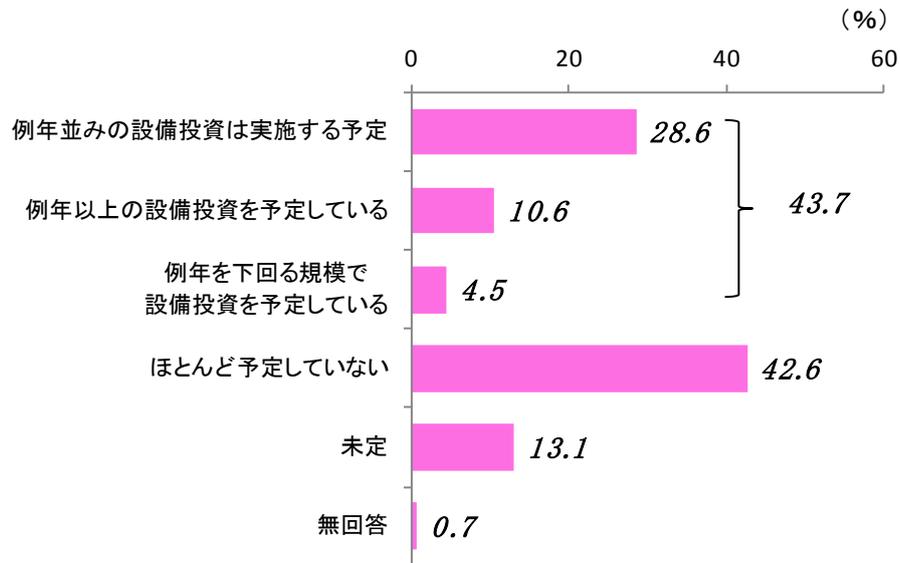


[複数回答] (%)

		回答企業数(社)	採用を強化する	業務の効率化でカバーする	今の人員で乗り切る	パート・アルバイトを活用する	定年延長など中高年を活用する	結婚・出産等で退職した女性を再雇用する	その他	無回答
全産業		409	49.4	24.4	19.3	15.6	13.2	1.0	1.5	2.9
規模別	小規模企業	64	28.1	21.9	29.7	12.5	12.5	1.6	1.6	6.3
	中小企業	270	53.0	25.2	18.5	16.3	14.8	0.0	1.1	1.9
	中堅企業	67	56.7	25.4	10.4	16.4	9.0	4.5	3.0	3.0
業種別	製造業	116	48.3	28.4	15.5	20.7	14.7	0.0	3.4	1.7
	非製造業	285	50.5	23.5	20.4	13.3	13.0	1.4	0.7	3.2

9. 設備投資の予定

- ・設備投資を予定している企業は全体の43.7%で、製造業では半数以上(55.2%)の企業が計画している。
- ・また、規模別では、中堅企業が62.5%、中小企業が45.0%、小規模企業が22.2%と規模格差が出ている。



		回答企業数(社)	① 例年並みの設備投資は実施する予定	② 例年以上の設備投資を予定している	③ 例年を下回る規模で設備投資を予定している	①+②+③ 設備投資を予定	④ ほとんど予定していない	⑤ 未定	⑥ 無回答	合計
全産業		1,099	28.6	10.6	4.5	43.7	42.6	13.1	0.7	100.0
規模別	小規模企業	189	16.4	4.2	1.6	22.2	57.7	19.6	0.5	100.0
	中小企業	710	29.2	11.0	4.8	45.0	42.3	12.3	0.6	100.0
	中堅企業	179	41.3	15.1	6.1	62.5	26.3	10.1	1.1	100.0
業種別	製造業	333	34.8	13.2	7.2	55.2	31.2	13.2	0.3	100.0
	非製造業	748	26.3	9.1	3.3	38.7	47.2	13.1	0.9	100.0

IV.【参考】業況判断の内訳明細

景況判断

DI = 「良い」 - 「悪い」

項目	2014年 7~9月				2014年 10~12月				2015年 1~3月				2015年 4~6月				2015年 7~9月 《見通し》			
	良い	普通	悪い	DI	良い	普通	悪い	DI	良い	普通	悪い	DI	良い	普通	悪い	DI	良い	普通	悪い	DI
全産業	14.3	68.7	17.0	▲2.7	12.4	67.8	19.8	▲7.5	15.0	67.2	17.8	▲2.8	14.8	69.6	15.6	▲0.7	14.6	70.8	14.6	0.0
小規模企業	13.6	65.6	20.8	▲7.1	10.9	65.6	23.4	▲12.5	11.9	68.4	19.7	▲7.8	9.1	70.1	20.9	▲11.8	9.3	69.8	20.9	▲11.5
中小企業	14.7	67.6	17.7	▲3.0	12.6	66.4	21.0	▲8.4	16.0	65.0	19.0	▲3.0	15.8	69.3	14.9	1.0	16.2	69.6	14.2	2.0
中堅企業	13.7	75.0	11.3	2.4	13.4	74.9	11.8	1.6	15.4	73.7	10.9	4.6	15.6	72.1	12.3	3.4	12.8	77.1	10.1	2.8
製造業	14.4	69.4	16.2	▲1.8	13.5	68.6	17.9	▲4.5	15.0	70.1	15.0	0.0	15.3	68.2	16.5	▲1.2	16.3	70.7	13.0	3.3
小規模企業	29.4	35.3	35.3	▲5.9	15.4	53.8	30.8	▲15.4	10.0	65.0	25.0	▲15.0	6.9	58.6	34.5	▲27.6	7.1	67.9	25.0	▲17.9
中小企業	14.0	68.9	17.1	▲3.1	13.3	67.0	19.7	▲6.4	14.4	68.8	16.7	▲2.3	16.3	67.9	15.8	0.4	18.0	69.0	13.0	5.0
中堅企業	10.3	81.0	8.6	1.7	13.8	78.5	7.7	6.2	19.0	76.2	4.8	14.3	15.0	75.0	10.0	5.0	15.0	78.3	6.7	8.3
非製造業	14.2	68.6	17.2	▲2.9	12.0	67.6	20.5	▲8.5	14.8	66.4	18.8	▲4.0	14.3	70.8	15.0	▲0.7	13.5	71.3	15.2	▲1.8
小規模企業	11.3	69.9	18.8	▲7.5	10.4	68.1	21.5	▲11.0	12.2	69.2	18.6	▲6.4	9.0	72.4	18.6	▲9.6	9.2	71.1	19.7	▲10.5
中小企業	15.3	66.7	18.1	▲2.8	12.3	66.2	21.5	▲9.2	16.5	63.6	19.9	▲3.3	15.8	69.9	14.3	1.5	15.5	69.7	14.8	0.7
中堅企業	15.5	71.8	12.7	2.7	13.1	73.0	13.9	▲0.8	13.4	72.3	14.3	▲0.9	14.7	71.6	13.8	0.9	10.3	77.6	12.1	▲1.7

項目	2014年 7~9月				2014年 10~12月				2015年 1~3月				2015年 4~6月				2015年 7~9月 《見通し》				
	良い	普通	悪い	DI	良い	普通	悪い	DI	良い	普通	悪い	DI	良い	普通	悪い	DI	良い	普通	悪い	DI	
地域別	神戸地域	11.6	73.0	15.4	▲3.9	10.8	73.1	16.1	▲5.4	14.4	66.9	18.8	▲4.4	13.0	72.7	14.3	▲1.3	13.8	73.1	13.1	0.8
	阪神地域	17.7	77.1	5.2	12.5	13.4	69.4	17.2	▲3.7	21.8	69.9	8.3	13.5	18.3	74.8	6.9	11.5	16.4	75.0	8.6	7.8
	播磨地域	15.3	66.8	17.9	▲2.6	12.9	65.2	21.9	▲9.0	14.4	67.6	18.0	▲3.7	14.0	66.4	19.5	▲3.5	14.1	68.1	17.7	▲3.6
	丹波・但馬地域	12.7	60.3	27.0	▲14.3	14.5	54.5	30.9	▲16.4	22.4	55.2	22.4	0.0	30.3	51.5	18.2	12.1	27.3	65.2	7.6	19.7
	淡路地域	17.9	56.4	25.6	▲7.7	12.0	65.1	22.9	▲10.8	5.7	69.0	25.3	▲19.5	9.2	78.2	12.6	▲3.4	8.1	72.1	19.8	▲11.6
業種別	製造業	14.3	69.5	16.2	▲1.8	13.5	68.6	17.9	▲4.5	15.0	70.1	15.0	0.0	15.3	68.2	16.5	▲1.2	16.3	70.7	13.0	3.3
	建設業	23.0	66.2	10.8	12.2	18.3	65.2	16.5	1.8	24.0	63.2	12.9	11.1	23.0	64.8	12.1	10.9	21.3	62.8	15.9	5.5
	卸売業	12.2	64.7	23.0	▲10.8	10.6	66.5	22.9	▲12.3	12.1	63.2	24.7	▲12.6	9.8	71.7	18.5	▲8.7	11.8	69.4	18.8	▲7.1
	小売業	5.3	68.0	26.7	▲21.3	10.0	52.9	37.1	▲27.1	6.9	56.9	36.1	▲29.2	6.7	68.0	25.3	▲18.7	5.3	69.3	25.3	▲20.0
	不動産業	16.1	71.4	12.5	3.6	6.7	73.3	20.0	▲13.3	10.7	77.4	11.9	▲1.2	12.6	78.2	9.2	3.4	12.9	78.8	8.2	4.7
	運輸業	15.6	75.0	9.4	6.3	11.6	60.5	27.9	▲16.3	15.0	55.0	30.0	▲15.0	17.8	68.9	13.3	4.4	15.6	68.9	15.6	0.0
	飲食業	28.6	64.3	7.1	21.4	9.1	81.8	9.1	0.0	12.5	56.3	31.3	▲18.8	23.1	61.5	15.4	7.7	15.4	84.6	0.0	15.4
	医療・保健衛生	3.2	83.9	12.9	▲9.7	4.8	83.3	11.9	▲7.1	9.8	82.9	7.3	2.4	15.2	78.8	6.1	9.1	9.1	84.8	6.1	3.0
	サービス業	12.5	66.3	21.3	▲8.8	11.1	71.6	17.3	▲6.2	18.2	67.7	14.1	4.0	10.5	72.6	16.8	▲6.3	10.5	76.8	12.6	▲2.1
	その他	11.1	75.6	13.3	▲2.2	15.9	75.0	9.1	6.8	7.7	84.6	7.7	0.0	16.1	73.2	10.7	5.4	12.7	74.5	12.7	0.0

【各種判断】

DI = 「増加」 - 「減少」、「不足」 - 「過剰」、「楽である」 - 「苦しい」

項目	2014年 7~9月				2014年 10~12月				2015年 1~3月				2015年 4~6月 《見通し》			
	増加 不足 楽である	変わらず 適正 普通	減少 過剰 苦しい	DI	増加 不足 楽である	変わらず 適正 普通	減少 過剰 苦しい	DI	増加 不足 楽である	変わらず 適正 普通	減少 過剰 苦しい	DI	増加 不足 楽である	変わらず 適正 普通	減少 過剰 苦しい	DI
売上高判断	29.4	52.2	18.4	11.0	28.2	52.9	18.8	9.4	29.2	52.3	18.5	10.7	23.6	62.1	14.4	9.2
経常利益判断	23.4	57.2	19.4	4.0	21.4	58.4	20.2	1.3	23.9	58.0	18.1	5.8	19.6	66.3	14.1	5.4
在庫判断	3.7	91.4	4.9	▲1.2	3.0	91.2	5.7	▲2.7	3.0	91.1	5.8	▲2.8	3.3	92.7	4.0	▲0.7
資金繰り判断	10.4	81.3	8.3	2.1	11.3	82.0	6.7	4.6	14.6	79.0	6.3	8.3	12.4	80.7	6.9	5.5
雇用判断	19.0	78.1	2.9	16.1	21.1	75.6	3.3	17.8	16.6	80.5	2.9	13.7	18.0	79.4	2.7	15.3